

平成 28 年度 第 10 回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 平成 29 年 1 月 4 日 (水) 13 : 30 ~ 17 : 20

2 場 所 1609 会議室

3 出席者 学内 : 藤野、井上、中山、興梠、阿南、庄司、廣、上野 (晋)、長野
学外 : 櫻井、安元、田中
欠席者 学内 : 原田、佐伯

4 報告事項等

(1) 平成 28 年度第 9 回産業医科大学倫理委員会議事抄録 (案) について

藤野委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 平成 28 年度第 9 回倫理委員会専門委員会について

上野 (晋) 委員長から、審査結果等について、資料に基づき、次のとおり報告があった。

- 1) 平成 28 年度第 8 回倫理委員会専門委員会議事抄録 (案) が、原案どおり承認された。
- 2) 第 54 回医学系大学倫理委員会連絡会議 (12 月 2 日・3 日) について報告が行われた。
- 3) 新規申請 1 件について、委員の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」することとした。
- 4) 変更申請については、1 件は委員の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」することとし、1 件は「承認」することとした。
- 5) 終了報告 1 件を承認した。

(3) 平成 28 年度第 9 回迅速審査小委員会 (持ち回り) について

中山委員長から、5 件の審査結果について、委員の指摘事項等に関する申請者の対応及び修正内容について委員長が確認したので、承認することとした、その内容は資料のとおりであるとの報告があった。

5 審議事項等

特になし。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請

- ① 申請者 : 医学部 第 2 外科学 助教 米田 和恵
課題名 : 胸部悪性腫瘍の発生と転移に関する研究 京都大学との共同研究 : 肺癌組織標本における免疫チェックポイント関連分子発現の検討
審査結果 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

1. 研究課題名

『胸部悪性腫瘍の発生と転移に関する研究 京都大学との共同研究 : 』を削除する。

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法

京都大学創薬医学寄附講座研究室で出された染色評価データが本学に戻ってくるのか

どうかの記述が必要である。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法（インフォームド・コンセントの手順）

倫理審査研究計画書にホームページ上に掲載する文書の添付が必要である。

16. 知的財産権の発生について

京都大学との共同研究であるので、権利の帰属先が産業医科大学だけで間違いないのか、確認することを勧める。

- ② 申請者： 医学部 第2内科学 学内講師 荻ノ沢 泰司
課題名： 非弁膜症性心房細動を有する後期高齢患者を対象とした前向き観察研究
All Nippon AF In Elderly Registry -ANAFIE Registry-
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

14. 研究費の資金源と利益相反について

この研究が資金提供者である第一三共株式会社による企業主導型多施設共同研究であること、当該企業が『研究結果の解釈には関与する』ことについて懸念があるので、研究代表責任医師等に確認することを勧める。

本学では、倫理審査申請には利益相反委員会での審査、承認が必要であるため、7行目から11行目にかけての文章を整理する。

- ③ 申請者： 医学部 小児科学 助教 白山 理恵
課題名： ワクチン接種と稀ながら発生する副反応に関する疫学研究
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 2) 対象者の目標人数

対照の症例数について記述する。

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法 1. 調査項目 2. 患者情報

⑧職業（就職後の場合）

集団生活の有無のうち、『大学、短大』と『高齢者施設、』は削除する。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 1) 対象者の自由な選択と同意撤回の保障

1行目『未成年の場合』は、『未成年を対象とするため』に改める。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 代諾者からインフォームド・コンセントを受ける場合の選定方針と手続方法

1行目『対象者が未成年の場合』は、『対象者ば未成年であるため』に改める。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク

4行目から6行目『予測されるリスクとしては、血液検査の結果を報告するが、「患者」群は診断のために用いられている、血液検査データを報告する。また、「対照」群も受診・入院の理由になったそれぞれの疾患を診断・評価するために行った血液検査データを報告する。』は削除する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

代諾者の方（患者さんのご家族）への説明文書

5. 研究の方法

国立感染症研究所に提供する患者情報は、もう少し詳しく書く必要がある。母子手帳を借用すること、問診にかかる時間についても記述する。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

7行目から10行目まで『本研究に参加したことが原因となって、予測しなかった重篤な副作用などの健康被害を受けたときは、通常の診療と同様に適切に対処いたします。なお、当該健康被害を受けた場合には、保険による保障が受けられます。状況に応じて補償についても適切に配慮します。』はこの項目に書く内容ではなく、また、本研究が患者情報収集の研究であるため、不要であり、削除する。

- ④ 申請者： 医学部 第3内科学 助教 日浦 政明
課題名： 肝細胞癌に対する肝切除またはラジオ波焼灼療法施行後の再発治療・長期予後に関する多施設共同後ろ向き観察研究：SURF trial 付随研究
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法 具体的方法：

データセンターであるジェイクルーズ株式会社の信頼性について研究代表者等に確認することを勧める。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法（インフォームド・コンセントの手順）

本研究が安全に行われるためには、対象者が他の病院に通院中の場合の病院名と病名、服用薬、また、薬局等で購入して使用している薬について連絡してもらう必要があることになっているが、オプトアウトによる方法では、これらが確実に実施される保障はない。対象者が8名と限定されているので、研究の意義、目的、方法、対象者にとっての利益、不利益、この試験を安全に行うために必要な事項等を説明した文書を作成し、同意書への記載を依頼する方法に変更する。

ホームページ掲載文書

誤植がある。

1. この研究の概要 【研究の目的】 17行目 2018年→2019年
2. 研究参加の任意性と撤回の自由 2行目 同上

- ⑤ 申請者： 医学部 眼科学 助教 渡部 晃久
課題名： 眼科医の手術執刀中の姿勢についての研究
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 2) 対象者の目標人数

対象者である執刀医の人数を記述する。

参加者の方（眼科医師）への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

3D モニター手術（ヘッドアップサージャリー）が開発されてきていること、今回は顕微鏡手術との比較をすることの記述を追加する。

5. 研究の方法

3D モニター手術（ヘッドアップサージャリー）と顕微鏡手術の比較をすることの記述を追加する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

参加者の方（代諾者）への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

3D モニター手術（ヘッドアップサージャリー）が開発されてきていること、今回は顕微鏡手術との比較をすることの記述を追加する。

5. 研究の方法

3D モニター手術（ヘッドアップサージャリー）と顕微鏡手術の比較をすることの記述を追加する。

7. 研究対象者に生じる負担並びに予想されるリスク及び利益

センサー装着による危険性がないことが伝わるように記述を追加する。

参加者の方（未成年の患者さん）への説明文書

7. 危険なこと

センサー装着による危険性がないことが伝わるように記述を追加する。

- ⑥ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 城戸 貴志
課題名： 過敏性肺炎における免疫複合体の網羅解析
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 3) 期間

2ヵ月間で十分かどうか代表者に確認する。

これに関連して、藤野委員長から、気管支肺胞洗浄液の保管目的について質問があり、申請者から検査の精度向上のために保管しているものであり、研究用として保管しているものではないことの説明があった。

藤野委員長から、今後、研究用として保管する必要があるかどうかを講座内で検討し、必要であれば、研究目的での保管に関する倫理審査研究計画書を提出するよう助言があった。

- ⑦ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 城戸 貴志
課題名： 間質性肺炎における一酸化窒素の役割に関する検討
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 申請者： 産業医科大学病院 総合周産期母子医療センター 助教 清水 大輔
課題名： 極低出生体重児の慢性期の呼吸管理における High flow nasal cannula 療法導入が経口哺乳確立にあたる影響についての研究

審査結果 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要 (研究の背景・目的・意義)

誤植がある。4行目 気管支配異形成→気管支肺異形成

ホームページ掲載文書

7. 個人情報の取り扱い

利用の拒否の申出があった場合も廃棄することを記述する。

⑨ 申請者 : 産業医科大学病院 血液内科 診療教授 塚田 順一
課題名 : 非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植における検体収集および研究機関への提供
審査結果 : 審査の結果、「承認」とする。

⑩ 申請者 : 医学部 産科婦人科学 助教 金城 泰幸
課題名 : ウェアラブルデバイスを用いた自律神経機能解析と陣痛発来に関連性に関する研究
審査結果 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

1. 研究課題名

研究内容に即したものに改める。

4. 実施概要 (研究の背景・目的・意義)

下から2行目『妊娠正期の妊婦』を『正期産の妊婦』に改める。

6. 医学からみた客観的意義 (研究の科学的合理性の根拠)

1行目『妊娠正期の妊婦』を『正期産の妊婦』に改める。

6行目『妊娠正期』は『正期産の期間』に改める。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 6) 研究情報 (結果を含む) の対象者への開示及び公表の方法

自律神経バランスについては参加者の利益になるので開示することとし、その旨を記述する。

19. 緊急時の連絡先

個人の携帯電話の番号は止め、講座代表番号に変更する。

参加者の方 (患者さん) への説明文書

標題

『 (患者さん) 』を削除する。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

誤植がある。4行目 連結不可能匿名化→連結可能匿名化

⑪ 申請者 : 産業医実務研修センター 助教 永田 昌子
課題名 : 身体疾患を有する労働者が円滑に復職できることを目的とした、科学的根拠に基づいた復職ガイダンスの策定に関する研究

審査結果 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義） 【目的】

3～4行目『メンタルヘルス不調者の職場復帰では3か月程度で業務遂行能力が戻るということが一般的に知られている』の『3か月程度で』と限定するのは適切ではないので、改める。

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義） 【意義】

誤植がある。2行目 仕事の治療の両立→仕事と治療の両立

5. 実施計画 4) 場所 ①インタビュー調査

3行目の『インタビューイー』は『インタビュー対象者』に変更する。

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法

インタビュー調査の聴取項目を追加する。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法（インフォームド・コンセントの手順）

事例収集に関する具体的な参加同意の取得手順についての記述を追加する。

参加者の方への説明文書

5. 研究の方法 ①インタビュー調査

インタビュー調査の聴取項目を追加する。

インタビュー調査及び事例収集に参加する場合は、所属事業場の同意を得るよう依頼する旨を記述する。

⑫ 申請者： 医学部 第1内科学 学内講師 中野 和久

課題名： ループス腎炎に対するリツキシマブ使用実態に関する後ろ向き調査研究

審査結果 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 c) 評価項目

本研究は、ループス腎炎に対するリツキシマブの使用実態を後ろ向きに調査研究し、有効性及び安全性について明らかにするのであるから、評価項目は『該当せず』ではなく、主要評価項目、副次評価項目について記述する必要がある。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報等の取り扱い方法）

3行目『関連機関に送付する』について、送付方法の記述を追加する。

注) 本件については、倫理委員会終了後、未定であった事務局が決定される（日本リウマチ学会）とともに、研究業務の一部委託を行うこと（データ集計・解析をジェイクルーズ株式会社に委託）への変更があり、委員長の確認をもって承認された。

⑬ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博

課題名： 成人侵襲性肺炎球菌感染症患者における肺炎球菌株の莢膜血清型分布および薬剤感受性に関する多施設共同観察研究

審査結果 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長

が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義）

研究依頼者MSD株式会社による企業主導の多施設共同の受託研究である理由の説明が必要である。

5. 実施計画 3) 期間

申請する研究期間をもう少し長くする必要がないのか、検討する。

13. 研究業務の一部を委託する場合の業務内容と監督方法

研究の中立性が補償されているのか説明が必要である。

14. 研究費の資金源と利益相反について

1～2行目 誤植がある。研究象者→研究対象者

15. 対象者への経済的負担又は謝礼の有無とその内容

誤植がある。経済的負担の軽減はない。→経済的負担はない。

⑭ 申請者： 医学部 小児科学 助教 荒木 俊介

課題名： NICUに入院している新生児に対する痛みのケアの有効性についての研究

審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法

9行目～10行目の日本語表記のないESPAPIとNIPSについての説明が必要である。

11行目の『新生児集中治療専門看護師』は『新生児集中ケア認定看護師』に改める。

17. モニタリング及び監査方法（侵襲を伴う介入研究の場合）

誤植がある。2行目 『研究分担者の』を削除する。参加者の保護者の方への説明文書の該当箇所（22.）についても同様である。

参加者の保護者の方への説明文書

5. 研究の方法

8行目～9行目の日本語表記のないESPAPIとNIPSについての説明が必要である。

10行目の『新生児集中治療専門看護師』は『新生児集中ケア認定看護師』に改める。

誤植がある。9行目 測定する。→測定します。

10. 研究に関する情報公開の方法

1行目『あなた』を『あなたのお子さん』に改める。

⑮ 申請者： 医学部 小児科学 助教 荒木 俊介

課題名： 新生児・乳児期早期からの身近な樹脂原料への複合曝露が子どもの疾病へ与える影響についての研究

審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加者の保護者の方への説明文書

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

5行目から15行目までは、12. 個人情報の取り扱いに記述した内容と重複しているので、

削除する。

17. 通常の診療を超える医療行為を伴う研究の場合には、他の治療方法等に関する事項
健常児を対象とするので、血液検査は行わないが、アレルギーについての検査を実施する
場合があるので、『該当しません。』は適切ではない。

- ⑩ 申請者： 医学部 小児科学 助教 荒木 俊介
課題名： 新生児集中治療における虚血再灌流障害及び線維化に関連する新たなバイオマ
ーカーの研究
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長
が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 c) 評価項目 c) -1 主要評価項目 (プライマリーエンドポイント)
対象となる合併症が脳室周囲白質軟化症、慢性肺疾患、未熟児網膜症以外にもあるので
あれば、『等』を追加する。

参加者の保護者の方への説明文書

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

5 行目から 15 行目までは、12. 個人情報の取り扱いに記述した内容と重複しているので、
削除する。

- ⑪ 申請者： 医学部 第2内科学 講師 荒木 優
課題名： 慢性心不全患者におけるエイコサペンタエン酸 (EPA) の有効性の検討
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長
が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法 (募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等)
選択基準として高脂血症と診断されていることも条件として追加する。

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法

表：評価項目実施スケジュールにおいて、脂肪酸測定を同意取得時に実施するので「○」
を追加する。

- ⑫ 申請者： 医学部 第2内科学 講師 荒木 優
課題名： 心疾患患者に対する在宅運動療法の効果についての検討
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長
が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法

2~3 行目 各群の運動の時間数の表記 (①1 週間で計 80 分、②20 分の運動) が、それ
以降の記述 (①1 週間で 80 分以上、②20 分以上) となっているので、整理する。

参加者の方 (患者さん) への説明文書

5. 研究の方法 (2) 調査の項目と研究スケジュール 2) 研究の決め方

各群の説明を、倫理審査研究計画書 5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法 に記載されているように具体的に記述する。

- ⑱ 申請者： 産業医科大学若松病院 整形外科 助教 鈴木 仁士
課題名： 円板状半月板に対する関節鏡視下手術の術後臨床成績の検討
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

ホームページ掲載文書（共通）

7. 個人情報の取り扱い

文意が不明で、誤植もある。

6 行目 情報の徹底管理によって防止ます。→情報の徹底管理によって個人情報の流出を防止します。

- ⑳ 申請者： 医学部 脳神経外科学 教授 西澤 茂
課題名： Reveal LINQ レジストリ研究 潜因性脳塞栓症の原因解明
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

14. 研究費の資金源と利益相反について

3 から 4 行目『利益相反に関する規程に則り、日本メドトロニック社と研究責任医師及び/又は研究分担医師との利益の衝突については文書で公表し、審査される。』は文意が不明である。

参加者（患者さん）への説明文書

5. 研究の方法 表の注 1

調査対象の生年月日は生年月に変更する。

(2) 新規申請（迅速審査）

- ① 申請者： 医学部 整形外科 学内講師 善家 雄吉
課題名： 橈骨遠位端骨折に合併する豆状骨亜脱臼症例の検討
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 申請者： 産業保健学部 広域・発達看護学 講師 野元 由美
課題名： 医療的ケアが必要なNICU入院児の在宅移行支援における訪問看護師の活動に関する研究
—訪問看護ステーションへの質問紙調査—
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 申請者： 産業医科大学若松病院 整形外科 准教授 内田 宗志
課題名： 下前腸骨棘骨形態のレントゲン解析法開発およびコンピュータ断層撮影との比較
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。

- ④ 申請者： 産業医科大学若松病院 整形外科 准教授 内田 宗志
 課題名： 大腿骨寛骨臼インピンジメント患者における術後経過良好因子の検討
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 申請者： 産業医科大学若松病院 整形外科 助教 鈴木 仁士
 課題名： 寛骨臼形成不全と股関節インピンジメントの股関節形態学的関連の調査
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。

(3) 変更申請

- ① 申請者： 医学部 第2内科学 講師 荒木 優
 課題名： 慢性冠動脈疾患患者におけるイコサペント酸エチルの二次予防効果の検討
 (Randomized trial for Evaluation in Secondary Prevention Efficacy of
 Combination Therapy-Statin and Eicosapentaenoic Acid [RESPECT-EPA])
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 城戸 貴志
 課題名： 抗線維化薬で治療を受ける特発性肺線維症患者の前向きコホート研究
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 城戸 貴志
 課題名： 特発性肺線維症に対するニンテダニブ効果予測バイオマーカーの前向き解析
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
 課題名： 細菌叢解析法を用いた呼吸器感染症の原因菌別の患者背景の後方視的な検討
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 申請者： 医学部 リハビリテーション医学 助教 越智 光宏
 課題名： 慢性期脳卒中片麻痺患者に対する機能的電気刺激(ウォークエイド®)の効果(多
 施設共同前向き比較研究)
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 申請者： 産業保健学部 基礎看護学 講師 岡田 なぎさ
 課題名： 女性看護師が生き生きと働くための要因に関する研究
 —妻/母親役割の有無別によるワーク・エンゲイジメントの実態と影響要因、動
 機付けアウトカム及び健康アウトカムの検討—
 審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長
 が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法 ①調査内容及び評価尺度
 職業性ストレス調査票の見直しに伴う該当ページの記載内容に誤植がある。

- ⑦ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 城戸 貴志
 課題名： 厚生労働科学研究委託業務（難治性疾患実用化研究事業）「びまん性肺疾患に対するエビデンスを構築する新規戦略的研究」特発性肺線維症（I P F）の進行防止におけるピルフェニドンおよびピルフェニドン+N-アセチルシステイン（N A C）吸入併用療法に関する前向き多施設共同治療研究
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 城戸 貴志
 課題名： びまん性肺疾患に特異的な核酸・タンパクの探索
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑨ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
 課題名： 呼吸器疾患における一酸化窒素（NO）の役割の検討
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑩ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
 課題名： 早期がん診断マルチマーカーのプラットフォームとしての電気化学的バイオセンサの開発：電気チップを応用した肺癌および悪性胸膜中皮腫のテロメアーゼ活性測定法の検討
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑪ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 川波 敏則
 課題名： 16S ribosomal RNA 遺伝子を用いた慢性下気道感染症の進行の検討
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑫ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 川波 敏則
 課題名： COPD（慢性閉塞性肺疾患）患者の気腫性病変の程度と増悪時の原因菌の後方視的な検討
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑬ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
 課題名： 肺炎患者における肺炎球菌検出症例における臨床・細菌学的検討
 審査結果： 審査の結果、「承認」とする。

7 その他

(1) 藤野委員長から、研究終了報告2件について、資料に基づき説明があり、承認された。

<終了報告> 2件

- H25-011 申請者：医学部 第2外科学 助教 近石 泰弘
 課題名：小細胞肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴に関する研究
- H25-163 申請者：産業生態科学研究所 精神保健学 助教 井上 彰臣
 課題名：労働時間とメンタルヘルスとの関連：緩衝要因の検討